

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和02年12月23日

計画の名称	早島町における安全・安心で快適な生活環境の実現													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	早島町													
計画の目標	・公共下水道の整備を推進することにより、快適な生活環境の改善並びに公共用水域の水質改善を図ることで、安心・安全な町民生活を実現する。 ・下水道施設の統廃合を実施し、事業運営の効率化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		152	A	152	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

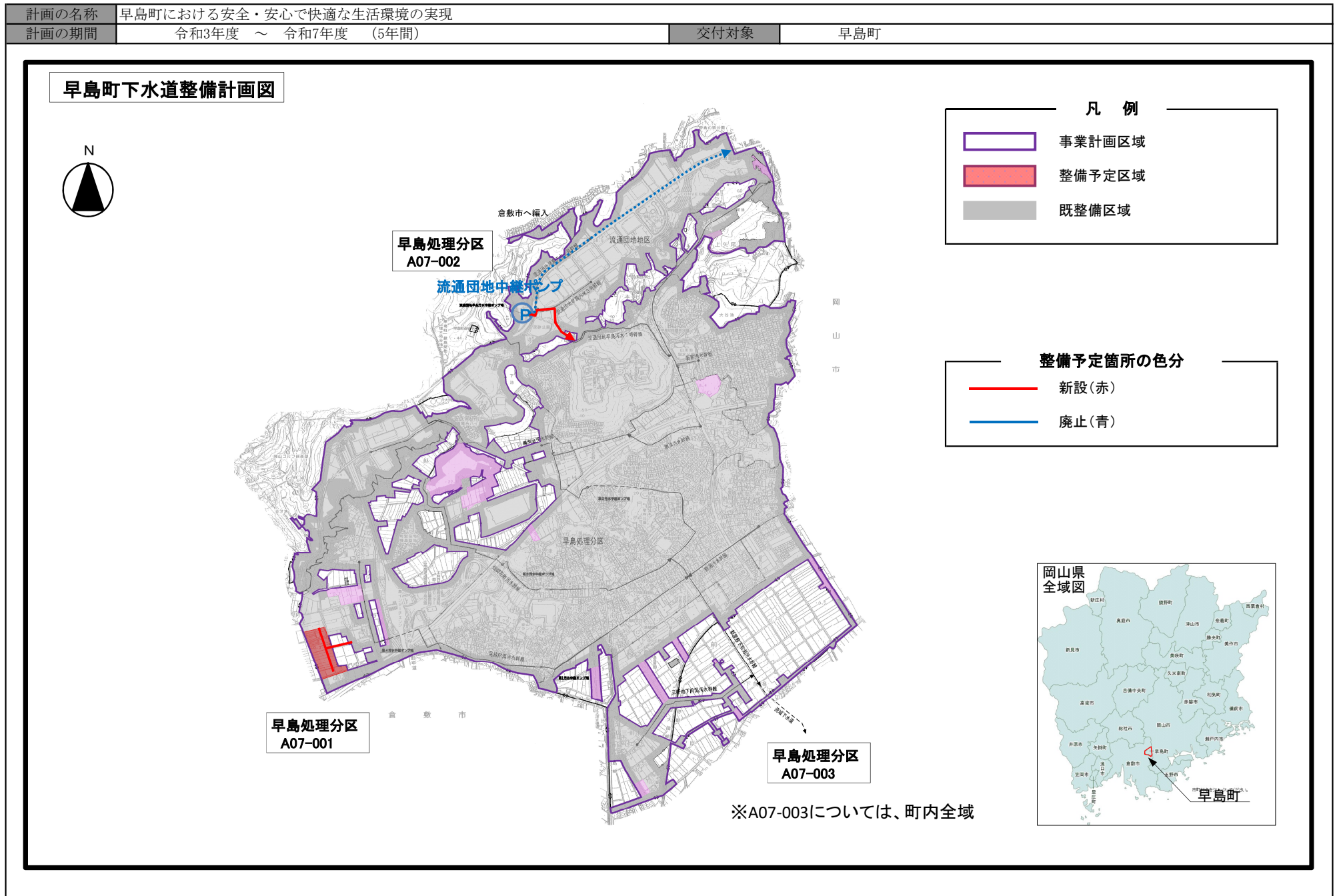
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R5末)	(R7末)
1	下水道施設の整備率（整備面積の拡充）を93%（R3）から94%（R7）へ向上させる。			
	下水道施設の整備率 下水道整備面積現況（ha）／下水道事業計画整備面積（ha）×100	93%	94%	94%
2	下水道施設の統廃合について、整備率0%（R3）から100%（R7）へ増加させる。			
	広域化・共同化整備率 町内統廃合整備済み施設数（箇所）／町内統廃合の整備が必要な施設（箇所）×100	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	早島町	直接	早島町	管渠（ 污水）	新設	早島処理分区污水管渠整備事業	污水管φ200 L=0.4km	早島町	■	■				80		—
	A07-002	下水道	一般	早島町	直接	早島町	管渠（ 污水）	新設	早島処理分区統廃合整備事業	污水管φ100 L=0.4km マンホールポンプ N=1基	早島町			■	■	■	70		—
	A07-003	下水道	一般	早島町	直接	早島町	—	—	污水处理施設整備事業	都道府県構想の見直し	早島処理分区		■				2		—
											小計						152		
											合計						152		

(参考様式3)

(参考図面) 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）



事前評価チェックシート

計画の名称： 早島町における安全・安心で快適な生活環境の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合 1) 都道府県構想（クリーンライフ100構想）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合 2) これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検（4つの点検）の実施結果を反映している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) 下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 2) 計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 3) 計画および実施に関し、住民等との間で合意が形成されている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	40	1	6	24	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	△4	
交付額 (c=a+b)	40	1	6	20	
前年度からの繰越額 (d)	0	16	0	0	
支払済額 (e)	12	17	6	13	
翌年度繰越額 (f)	16	0	0	7	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	12	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	30	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	道路事業の計画変更により、下水道事業の一部が施工できなかったことによる。				